

1814  
2011・6/10

# 大阪教育

昭和29年2月16日第三種郵便物認可/毎月10日発行/1部30円(組合員は組合費を含む)/発行・大阪教職員組合・〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11・大阪府教育会館7F/TEL 6768-2330/FAX 6768-2239/daikyoso@daikyoso.jp 編集発行人・田中康寛/印刷・関西共同印刷所

## 府労組連夏季闘争

### 第2次決起集会

●日時 6月20日(月)16時00分～  
●場所 教育塔前 分会2割参加要請

いまこそ

# たたかう組合の

大教組第182回  
定期大会

# 真価を発揮する時



大教組第182回定期大会

教え子を再び戦場に送るな！  
憲法と教育の営みを守り、組織拡大の大き

大教組は5月28日、府教育会館に於いて第182回定期大会を開催。11年度運動方針案などの議案が圧倒的多数の賛成で可決されました。20人が討論に参加、職場要求実現・学校づくりの経験や府政転換への決意などが語られ、とりわけ青年たちの元気な発言は参加者を勇気づけました。(2・3面掲載)

# 組織拡大の飛躍を

## 「変革の時代」を きりひらこう

大会あいさつに立った田中康寛大教組中央執行委員長は、東日本大震災の未曾有の被害の中、いまだに約10万人が避難生活を余儀なくされている。「ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうち

に生存する権利を有する」この憲法に立脚した取り組みが求められており、くらしと安全優先か、もうけと効率最優先か、今後の社会のあり方をめぐる2つの道の選択が今、まさに問われている。震災・原発事故を通じて国民の意識が劇的に変化していると強調しました。

## 憲法違反の 「強権政治」転換へ

「君が代」起立斉唱強制条例の真のねらいは府民と子どもに愛国心を押し付けていくことであると一貫して主張し、府政における強権政治の推進・確立をねらう橋下知事の

政治的意図があります。府民要求との矛盾は広がる一方で、府政転換へのエネルギーは蓄積されていきます。対話と共同をひるげ、革新民主府政の実現を呼びかけました。

限をもつ校長との交渉が重要になります。本意を出し合える職場づくりを大切に不満や要求を幅広く総集約した要求書づくりと交渉を積み重ねましょう。

## 若い力とむすんで 職場づくりを

労働基本権回復で、権

たたかっこそ組合、大規模世代交代期を増勢に転じる不転換のままで組織拡大の大飛躍に挑もうと訴えました。

橋下・大阪維新の会は、6月3日(金)の夜、「日の丸常時掲揚、君が代起立斉唱」強制条例案を府民的論議が全くない中で、強行可決しました。今回の暴挙にたいし、教職員組合はもとより各方面から強い批判の声が上がっています。



「君が代起立斉唱強制」条例反対のたたかいは、短期間の間に大きな盛り上がりを見せました。大教組は、憲法と民主主義を真っ向から蹂躪、政治が露骨に教育介入すること、同時に「愛国心の高揚」を府民と子どもたちに条例で押しつける

という大問題として、単組・支部、職場からのとりくみと合わせ、府民共同のたたかいを呼びかけました。6月1日の緊急集会は、大教組をはじめ子どもと教育・文化を守る府民会議、自由法曹団などの7団体の呼びかけで行われ、会場あふれる550名の参加で撤回への決意を固めました。一般マスコミ

(朝日、毎日新聞など)も反対・批判の声をあげ、法曹界からも批判の声が急速にわき起こりました。全教も全国闘争・支援の呼び



かけを行い、近畿各県はもとより、全国から支援・激励が寄せられています。府議会答弁でも、大阪の教育行政に責任を持つ中西教育長までも、「条例化は必要なし」と答弁するなど、「君が代起立斉唱強制」条例は、現在の教育委員会制度をも否定する暴挙といえます。こうした世論と批判の高まりのなか、府議会では、「日の丸・君が代」に対する意見・立場の違いを超え、「条例化」は反対で、維新の会を除くすべての会

# 憲法違反の暴挙を許さない

関連記事  
3・4面

5月末、韓国京畿道へ「児童・生徒人権条例」(昨年10月制定)の調査に行った。訪問先は京畿道教育庁、全教組京畿道支部、学生人権条例制定運動本部である。韓国は昨年統一地方選で左派が前進し、京畿道では民主的な教育監(教育長)が公選された。「条例」は47条からなり、保護され生きる権利、学ぶ権利、教育参加権、意見表明権、体罰の禁止など「人権親和的な学校づくり」を目的にしたもの。韓国は世界有数の受験競争の激しい国で、大学進学率は約8割。7時半から早朝学習、放課後の有料補習授業を終え、塾は深夜にも及ぶ。10数倍の競争率の科学高校で、最近、成績を苦に4人の学生が自ら命を絶した。09年の中高生の自殺は196人、青少年の自殺率は1日平均で1・8人にもなる。これらの事実が「条例」制定の大きな背景となった。「条例」は人の上に人をつくる競争教育は、青年期の心に強いストレスを生み、孤独と闇が覆う。それは負の作用というより、競争主義がもたらす本質的な結果だ。韓国に学べ」という橋下知事の競争教育、「君が代」起立条例」という管理統制への暴走は時代錯誤の極みである。(C・S)